

バローHD

北海道・東北と
中国・九州地盤 売上高計1兆円超

スーパー2社と資本提携

バローホールディングス（HD）は25日、北海道・東北地方と中国・九州地方でそれぞれスーパーマーケットを展開するアークス（札幌市）、リテールパートナーズ（山口県防府市）と3社で資本業務提携を結

んだと発表した。3社の経営者が同日、東京都内で会見した。3社が第三者割当増資で発行する株式をそれぞれ取得し、経営ノウハウを共有して競争力を高めるのが狙い。3社の年間売上高は1兆円を超え、小売店舗は千店以上になる。

3社は提携を「新日本スーパーマーケット同盟」と命名。取引先の共有や資材、

備品の共同購入、キャッシュレス決済の共同研究などを進める。

バローHDによると、同社は物流や資材購入に強みがあり、こうしたノウハウ

を2社に提供。またバローHDのスポーツクラブ事業に2社が関心を示しているため、共同展開を検討している。

バローHDは、2社を割当先として発行済み普通株式の4・79%を発行し、2社が半分ずつを取得。バローHDはアークスの普通株式の2・32%、リテールの6・72%を取得し、差額分の約1億900万円は自己資金を充てる。

バローHDはスーパー2

40億2000万円。アークスはスーパー336店、リテールはスーパーやディスカウストアなど257店を持つ。18年2月期の連結売上高は、アークスが5139億5500万円、リテールが2289億8200万円。

バローHDの田代正美会長兼社長は「独立系のスーパーがこのままでは駄目になるという危機感があった。全国のスーパーマーケットの受け皿ができれば面白い」と話した。

83店を含め、ドラッグストアやスポーツジムなど860店を展開。2018年3月期の連結売上高は54



資本業務提携を発表する（右から）バローHDの田代正美会長兼社長、アークスの横山清社長、リテールパートナーズの田中康男社長（東京都中央区、東京証券会館）